

令和3年度
「地域学校協働活動推進事業」
実績報告書

郡山市教育委員会 生涯学習課

(1) 事業の概要の説明

- ① 「地域学校協働活動推進事業」について・・・・・・・・・・ 1

(2) 実績の概要の説明

- ① 数値から見た実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
② 実績の分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

(3) 「令和3年度地域学校協働活動推進事業」実績報告書の説明

- ① 学校支援活動について
○ 各学校の実施内容・回数等・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
○ 所見・感想等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
② 土曜日の教育活動等について
○ 各学校の実施内容・回数等・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
○ 所見・感想等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

(4) 評価・検証委員からの意見・・・・・・・・・・・・・・・・ 36

令和3年度地域学校協働活動推進事業計画

生涯学習課

1 趣旨

学校内の教育活動はもとより、土曜日等の休日や長期休業日の学校外における諸活動に、地域や民間の方々より積極的に支援・協力を得る。このことにより、子どもたちの学びの環境の充実を図るとともに、学校と地域の互惠関係を生み出す。また、地域の教育力の向上や地域の方々の生きがいつくり、地域コミュニティの充実等を図る。

2 目標

地域の教育資源を生かした学校内外の教育環境の充実を図ることにより、子どもたちの多様な学びのニーズに応え、豊かな人間性や学力向上を図るなど、豊かな学びを保障する。

3 事業内容

子どもたちの教育環境の充実を図るために、中学校区を1つの単位として、地域をよく知る地域コーディネーターを配置する。校区の小学校・中学校・義務教育学校は、地域コーディネーターを通して豊かな経験、優れた知識・技能を持った地域の方々（市内在住の方）より学校の教育活動や学校外の諸活動に積極的に支援・協力を得ることにより活動の充実を図る。

【地域力を生かした働き方改革】：学校の教育課程に基づいた学習支援

- ① 実施単位 各小学校・中学校・義務教育学校
- ② 活用内容 学習支援 体験活動支援 学校図書館支援 特別支援教育支援
環境整備支援 登下校安全確保支援 学校行事支援 など
- ③ 講師区分 授業の主たる指導者となって学習支援をするティーチャー型と、ボランティアで支援するサポーター型によって支給対象が異なる。
- ④ 事業実施期間 令和3年4月から令和4年1月末まで
※なお、今年度については新型コロナの影響により、期間内に事業が終了できない学校が多いことから、例外的に3月上旬まで事業を実施している。

(活用例)

	授業の主たる指導者（ティーチャー型）	ボランティア（サポーター型）
講師区分	<ul style="list-style-type: none"> ① 中学校技術科の木材加工の授業に、地域の大工さんを講師活用 ② 中学校音楽科の和楽器の授業に、琴の先生を講師活用 ③ 特設クラブ・部活動の講師招へい。 ※ 授業を中心として地域人材等の活用を図ることを基本としているため、特設クラブ・部活動への講師招へいについては、一定の目安のもとで運用することとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 授業中における特別な支援を必要とする児童生徒への個別の支援 ② 校外活動における安全確保のための付き添い ③ 図書館整備や読み聞かせ ④ 部活動において、顧問のサポーターとしての支援 ⑤ 花壇の整備や樹木の剪定 ⑥ 児童生徒の登下校時間に併せた安全確保の見守り支援 ⑦ 学校行事支援

【地域未来塾】：土曜日等の休日や長期休業日、放課後の学習支援や体験活動支援

- ① 実施単位 各小学校・中学校・義務教育学校
- ② 活用内容 土曜日等の休日や長期休業日、放課後に行う学習支援を原則とするが、体験活動を実施する場合は、ものづくりなどの体験活動とし、ねらいを明確にして実施する。
- ③ 事業実施期間 令和3年4月から令和4年1月末まで
- ④ 事業の対象者 中学校区内の小中学生
- ⑤ 活用例 地域の公共施設や学校を会場に指導者が学習支援を実施

【地域コーディネーター】

- ① 活動内容 学校を訪問するなどして、学校が必要とする支援について要望を集約しその要望に合致した地域の人材を探し、学校に派遣する。
- ② 設置 中学校区を単位として、地域コーディネーターを設置することを原則とするが、学校の実情に合わせ複数名、小学校等での設置も可能とする。
- ③ 設置期間 令和4年1月末まで
- ④ 候補者 公民館からの情報、すでに学校の教育活動に関わっている方の中から選考することなどが考えられる。
 - ・すでにボランティアとして学校を支援している人
 - ・PTA・同窓会・地区団体などの役員経験者
 - ・地域在住の教員経験者や市職員経験者 ・PTA役員 など
- ⑤ 地域コーディネーター研修会
 - 1) 家庭教育学級生・地域コーディネーター合同学習会
各学校の保護者で組織する家庭教育学級生と地域の基幹施設である公民館職員と合同で学習会を開催し、各地区における学校を支援する地域づくりについて情報交換を行い、事業の推進を図った。
 - ・実施回数 1回（令和3年8月21日（土） 市内12公民館にてオンライン開催）
 - ・参加者 地域コーディネーター、家庭教育学級生、公民館職員

4 外部人材について

学校内外の教育環境の充実を図るための教育資源の活用

- (1) 地域の専門的技能者、大学生、「寺子屋郡山」の講師、教員経験者、退職校長会等
- (2) 郡山市教育委員会と市内4大学との協定により、郡山市立学校に各学校の要望に応じて大学生を派遣する。

令和3年度 地域学校協働活動推進事業
実績の概要① 「数値から見た実績」

【地域力を生かした働き方改革】

項目	講座数			講師数			講師内訳						参加児童生徒数			授業時数		
	R2	R3	増減	R2	R3	増減	ティーチャー型			ボランティア型			R2	R3	増減	R2	R3	増減
小学校	395	470	75	448	569	121	397	502	105	51	67	16	19,067	26,321	7,254	770	987	217
中学校	99	96	-3	157	162	5	157	162	5	0	0	0	7,009	7,472	463	246	241	-5
義務教育学校	24	22	-2	41	32	-9	40	32	-8	1	0	-1	1,082	1,040	-42	63	51	-12
合計	518	588	70	646	763	117	594	696	102	52	67	15	27,158	34,833	7,675	1,079	1,279	200

【地域未来塾】

項目	講座数			講師数			講座内容						参加児童生徒数			時間		
	R2	R3	増減	R2	R3	増減	学習支援			体験活動			R2	R3	増減	R2	R3	増減
小学校	14	31	17	24	40	16	21	37	16	3	3	0	1,119	617	-502	46	79	33
中学校	33	43	10	50	53	3	31	44	13	19	9	-10	507	605	98	93	98	5
義務教育学校	0	4	4	0	17	17	0	13	13	0	0	0	0	133	133	0	16	16
合計	47	78	31	74	110	36	52	94	42	22	12	-10	1,626	1,355	-271	139	193	54

令和3年度 地域学校協働活動推進事業
実績の概要② 「実績の分析」

1 目標達成に向けての効果測定方策

- ① 各学校区からの実績報告の自己評価（成果と課題等）や感想、聞き取り等により、児童生徒の意識等について把握する。
- ② 地域人材の講師に対する聞き取り等により、地域人材のやりがいや学校と地域の連携について把握する。
- ③ 各学校区からの実績報告を活用し、授業数、講師数、参加児童生徒数を把握する。

2 地域力を生かした働き方改革

- ① 各学校区における地域人材を活用した講座数、参加者数の増減

今年度も引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、予定していた活動の規模縮小や中止をしたところが多かったが、地域人材を活用した講座数及び参加者数は、休校などの措置が取られた令和2年度と比較すると増加した。特に小学校が講座数で75講座、参加者数で7,254名増加しており、徐々に活動が再開されてきている。一方で、中学校では参加者数は463名増加したものの、講座数は3講座の減少、義務教育学校は2講座の減少、参加者数は42名の減少であり、高校受験などの人生の岐路を控えている生徒を抱える学校では、感染リスクを高めかねない活動の再開については慎重に判断している状況である。

※活動未実施校（小学校1校、中学校2校）

② 地域人材の発掘等による講師数の増減

地域人材を活用した講師数については、休校などの措置が取られた令和2年度と比較すると、小学校で121名、中学校で5名の増加、一方で、義務教育学校では9名の減少となり、全体としては117名の増加となっている。こちらも小学校における活動再開により全体数は増加しているものの、中学校及び義務教育学校での活動については慎重な判断が続いている。

③ 地域との交流による児童生徒の豊かな心や郷土愛の育成と児童生徒の学力（学習意欲、専門的知識・技能等）の向上

コロナ禍で、中止の判断をせざるを得ない活動もあったが、感染症対策を講じながら地域の伝統芸能指導等への支援が行なわれ、児童生徒にとって地域のよさを感じ、郷土を愛する心の育成に繋がったと考えられる。また、専門的な知識を有する講師による指導により、生徒の学習意欲と学力の向上が図られたと考えられる。

各学校からは、「伝統文化等を身近に感じたことで「ふるさと」への愛着が深まった」「地域の伝統文化に触れ、作法や技術等を身に付けるとともに地域の伝統を守り継承するという意識を高めることができた。」「専門的な知識を持った方に指導していただくことにより、児童の興味関心が高まり意欲的に活動する姿勢が見られた。」という所見が多く寄せられた。また、「教師についても、専門的な指導を目の当たりにすることで、指導力の向上に役立てることができた。」という感想が多く寄せられた。

④ 地域人材の学習・体験活動支援を通じた学校と地域の連携の強化

実施時期の変更や実施時間の短縮などの工夫を行いながら、学習・体験活動支援をしていただけたよう地域コーディネーターや講師の先生と連絡を密に行うなど、学校と地域の連携が図られていた。

地域人材の講師の方々からは、「児童との交流を大変楽しみにしている」「生徒たちが真剣にかつ意欲的に取り組み、やりがいがあった。」等の感想が寄せられた。

地域の方々喜んで講師を引き受け、子どもたちと学ぶことを生きがいと感じるなど、地域のネットワークづくりにつなげることができた学校が多く見られた。地域と共にある学校として、地域で子どもたちを育てると意識の高まりにも寄与しているとの声が聞かれた。

3 地域未来塾

① 各学校区における地域人材を活用した講座数、参加者数の増減

今年度も引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、当初予定していた講座を中止とした学校が多くあったが、休校などの措置が取られた令和2年度と比較すると地域人材を活用した講座数は、小学校で17講座、中学校で10講座、義務教育学校で4講座の増加であり、全体で31講座の増加であった。令和2年度は開催を見送った学校が徐々に活動を再開してきており、若干ではあるが講座数は回復してきている。一方で、参加した児童生徒数は中学校で98名、義務教育学校で133名の増加となっているが、小学校では502名の減少となっており、総参加児童生徒数は、延べ1,355名であり、271名の減少となっている。これは、特に大規模校において、密を避けるため1回あたりの参加者数を制限して講座を行ったことによる減少が大きいと考えられる。

※活動未実施校（小学校38校、中学校14校、義務教育学校1校）

② 地域人材の発掘等による講師数の増減

地域人材による講師数は、令和2年度と比較して増加した。小学校で16名、中学校で3名、義務教育学校で17名の増加であり、全体で36名の増加であった。これは、各学校にて徐々に活動が再開していること及び密を避けるために分散して活動を行った学校が多かったことが主な要因と考えられる。

各学校区においては、地域コーディネーターを中心に、PTAや地域の協力を得ながら、講師の発掘を進めている。

③ 地域との交流による児童生徒の豊かな心や郷土愛の育成と児童生徒の学力（学習意欲、専門的知識・技能等）の向上

長期休業中における学習会が開催できた学校からは、「児童生徒は外部塾講師による適切な支援を受け、進んで学習する姿が見られた。」という感想が寄せられた。また、「上級生が下級生に教える姿も見られ、異学年間交流を図ることにもつながった。」との感想も複数の学校から寄せられた。参加した児童生徒からも「友達と一緒に勉強できたので、自分も頑張ろうという気持ちになった。」「上級生に分からないところを教えてもらってうれしかった。」などの感想が寄せられた。

小学生を中心に、体験活動支援も行なわれ地域の方々との交流が深まった。参加した児童からは「コロナでどこにも出かけられない夏休みだったけど、みんなで貯金箱を作ることができて楽しかった。」などの感想が寄せられ、充実した活動であったことが窺えた。

④ 地域人材の学習・体験活動支援を通じた学校と地域の連携の強化

「教職員や保護者から、来年度以降もこのような機会を継続してほしい」「もう少し日数を増やしてほしい」などの声が聞かれた学校が多くみられた。

各学校において、地域の方との連携が図られ、児童生徒の実態に応じた効果的な支援をいただくことができているとの声が聞かれた。

4 各学校の活動実績と今後の展望

東日本大震災や東京電力福島第一原子力発電所の事故より、11年が経過しようとしている中、本市における他市町村の区域外就学児童生徒数は365名である。（令和4年2月現在）

今年度も、各学校において、児童生徒はもとより、その家族、他市町村から転入してきた方々と共に、様々な制限がある中、工夫して活動を展開する中で、コミュニティの形成を図ってきた。今後も、地域と学校が連携・協働し、子どもに対するケア、学習支援、交流活動支援の充実を図っていく。

令和3年度 地域学校協働活動推進事業（活動内容・回数等）

【地域力を生かした働き方改革】小学校

学校名	活動区分	教科等	主 な 内 容	回数	時間数	講師数	参加 児童数
01日和田小	1. ティーチャー型	国語	民話教室（1～4年） 俳句教室（1～6年）	10	25	16	1149
		音楽	琴教室（5～6年）				
		体育	ヒップホップダンス（1～6年）				
02高倉小	1. ティーチャー型	国語	民話教室 書きぞめ教室	10	17	11	71
		総合	目の不自由な方から学ぶ 語り部教室 人形浄瑠璃教室				
		音楽	和楽器教室				
03行健小	1. ティーチャー型	総合	命について考えよう	5	18	5	331
		音楽	雅楽体験・鑑賞「越天楽」教室				
04行健二小	1. ティーチャー型	総合	田植え・稲刈り・脱穀体験活動	7	20	10	858
		音楽	和楽器教室				
	2. ボランティア型	国語	お話会・ブックトーク				
05明健小	1. ティーチャー型	国語	書きぞめ	10	18	14	314
		社会	稲作の指導				
		英語	英語表現に親しもう				
		総合	わたしたちのまちのすてき発見				
		音楽	日本と世界の音楽に親しもう				
06小泉小	1. ティーチャー型	国語	読み聞かせ 書きぞめ（中・高学年）	10	22	10	152
		社会	茶道体験				
		音楽	和楽器体験教室				
		学活	生命尊重授業 芋ほり体験教室				
07行徳小	1. ティーチャー型	総合	地域の歴史を知ろう	11	26	13	727
		音楽	金管楽器・木管楽器の音色に親しもう				
		国語	おはなし会 書きぞめ教室				
		学級活動	男の子 女の子				
08安積一小	1. ティーチャー型	音楽	和楽器教室	1	3	3	93
09安積二小	1. ティーチャー型	体育	水泳学習 リズム遊び	13	26	13	1132
		総合	安積疏水についての学習 郡山の食				
		国語	書きぞめ むかしばなしをよもう				
10安積三小	1. ティーチャー型	国語	絵本の楽しさを知ろう	9	22	9	509
		音楽	合奏の楽しさを知ろう				
		生活	おへその話				
11永盛小	1. ティーチャー型	国語	俳句教室	6	15	9	530
		総合	プログラミング学習 地域学習				
12柴宮小	1. ティーチャー型	生活	昔あそびの会	8	12	11	419
		国語	書きぞめ指導 お話会				
		クラブ活動	けん玉のポイントを学ぼう				

学校名	活動区分	教科等	主 な 内 容	回数	時間数	講師数	参加 児童数
13穂積小	1. ティーチャー型	社会	安積疏水学習	10	18	14	178
		クラブ活動	トランポリン体験				
		音楽	和楽器教室				
		保健	いのちの大切さ				
		国語	読み聞かせ 書きぞめ指導				
		体育	ダンス				
14三和小	1. ティーチャー型	国語	民話鑑賞 書きぞめ学習 人形劇鑑賞	11	22	11	283
		体育	水泳教室				
		音楽	和楽器体験教室				
15多田野小	1. ティーチャー型	体育	リトミック学習	15	34	15	312
		学活	命の学習				
		社会	茶道教室				
		音楽	お囃子体験				
		国語	読み聞かせ				
堀口分校	1. ティーチャー型	生活・総合	田植え活動 稲刈り活動 サツマイモを育てよう				
		生活・総合	川に親しもう 森林学習 逢瀬町の文化にふれよう				
		図工	焼き物教室				
16河内小	1. ティーチャー型	社会	農家の仕事	3	3	3	51
		体育	性に関する指導教室				
17片平小	1. ティーチャー型	生活	さつまいもの苗植え さつまいもほり	10	17	10	285
		総合	茶道教室 イチゴ苗植え・栽培・収穫体験				
		音楽	箏教室				
		国語	書道教室 書きぞめ				
		体育	ヒップホップダンス				
18喜久田小	1. ティーチャー型	音楽	リトミック教室 邦楽教室	13	23	22	790
		総合	米作り体験 大豆を育てよう 自分の生き方を考えよう				
		図工	木の枝アート 昔遊びと工作				
		体育	表現遊び				
		国語	読み聞かせ会 聞いてたのしもう				
19熱海小	1. ティーチャー型	英語	英語科学習指導	27	54	29	388
		国語	お話会 書きぞめ				
石筵分校	1. ティーチャー型	英語	英語表現活動				
		国語	お話会 書きぞめ				
	2. ボランティア型	生活・総合	野菜作り				
20安子島小	1. ティーチャー型	生活・総合	田植え・稲刈り・収穫会講話	6	11	10	230
		国語	本の紹介・読書指導・読み聞かせ				
		音楽	雅楽教室				
21守山小	1. ティーチャー型	総合	守山の歴史 食とわたしたち	12	28	12	854
		国語	書きぞめ指導 民話体験 書道パフォーマンス				
		音楽	リトミック教室				

学校名	活動区分	教科等	主 な 内 容	回数	時間数	講師数	参加 児童数
22御代田小	1. ティーチャー型	総合	バリアフリー	16	32	21	445
		算数	算数科学習支援				
		社会	安積開拓、安積疎水と郡山の発展				
		体育	表現遊び・表現ダンス				
		国語	お話会（読み聞かせ）				
23高瀬小	1. ティーチャー型	生活	秋とあそぼう	7	9	10	316
		体育	ダンス教室				
		国語	書きぞめ お話会				
24谷田川小	1. ティーチャー型	生活・総合	田植え・稲刈り・脱穀体験 サツマイモの苗植え・芋ほり	7	15	9	178
		国語	書きぞめ指導				
25金透小	1. ティーチャー型	特別活動	生け花クラブ・ギタークラブの指導	24	24	24	240
26芳山小	1. ティーチャー型	特設合奏	合奏指導	9	28	10	507
		体育	水泳指導				
		国語	書きぞめ指導				
		音楽	和楽器の演奏指導				
27橋小	1. ティーチャー型	音楽	和楽器体験教室	4	16	4	467
	2. ボランティア型	国語	絵本の読み聞かせ				
28小原田小	1. ティーチャー型	国語	読み聞かせ 書きぞめ教室	9	26	9	648
		音楽	和楽器体験教室				
29開成小	1. ティーチャー型	総合	地域の歴史 助産師の仕事 地域の民話、福島の民話を聞こう	12	23	12	1169
		音楽	音楽を楽しもう				
		体育	水泳教室				
		クラブ活動	美しい歌声を作ろう				
30芳賀小	1. ティーチャー型	音楽	日本の音楽に親しもう	14	28	14	1492
		体育	水遊び リズム遊び				
		生活・総合	むかし遊び				
		外国語	フォニックスを学ぼう				
31桃見台小	1. ティーチャー型	国語	お話会	11	23	11	680
		社会	茶道体験 戦争について聞こう				
		学級活動	命の授業				
		音楽	邦楽教室 琴教室				
32赤木小	1. ティーチャー型	生活・総合	いきものとなかよし大作戦	5	10	5	265
		国語	国語科学習				
		体育	ダンス教室				
33薫小	1. ティーチャー型	総合	大豆の栽培 郡山ブランド野菜 安積開拓のお話 命の大切さ	14	26	14	1169
		体育	ヒップホップダンス				
		国語	民話 書きぞめ				
34富田小	1. ティーチャー型	クラブ活動	茶道クラブ指導 将棋クラブ指導	12	15	19	546
		音楽	箏教室				
		体育	よさこい教室				
35富田東小	2. ボランティア型	国語	お話会	12	22	12	1779

学校名	活動区分	教科等	主 な 内 容	回数	時間数	講師数	参加 児童数
36富田西小	1. ティーチャー型	国語	お話を読む（お話会）	6	18	7	448
		音楽	日本の音楽に親しもう 箏教室				
		図画工作	絵手紙教室				
38白岩小	1. ティーチャー型	音楽	和楽器（箏）の模範演奏と体験	7	21	9	136
		図工	陶芸教室				
		国語	書きぞめ指導 篆刻の作成 色紙の作成				
39東芳小	1. ティーチャー型	音楽	伝承音楽を味わおう	2	5	3	67
		生活	曲がりネギの育て方を学ぼう				
40桜小	1. ティーチャー型	保健学習	命の学習	5	16	5	399
		国語	昔話 いろいろな国のお話に親しもう				
		総合	安積疎水について				
41桑野小	1. ティーチャー型	体育	体幹トレーニング リズムダンス 性についての学習	9	18	9	442
		国語	読み聞かせ学習				
		生活	冬の植物や虫について				
42大島小	1. ティーチャー型	国語	書きぞめ指導	5	14	5	452
		音楽	邦楽体験教室				
		生活	いのちの大切さを学ぶ				
43緑ヶ丘一小	1. ティーチャー型	道徳	人権教育	12	24	23	750
		音楽	箏教室				
	2. ボランティア型	行事	交通安全教室				
		生活	昔遊び				
44小山田小	1. ティーチャー型	特支（自立活動）	陶芸教室	7	22	7	442
		生活・総合	体の不自由な方のことを知ろう へそのおのひみつ				
		社会	農家の仕事				
		音楽	日本の音楽でつながろう				
		体育	水泳教室				
		国語	昔話				
45大成小	1. ティーチャー型	国語	戦争の話 書きぞめ	15	27	22	1781
		社会	農家の仕事				
		総合	パケツで稲づくり 大成米プロジェクト				
		体育	表現リズム遊び ダンス				
		音楽	日本の音楽に親しむ				
46朝日が丘小	1. ティーチャー型	社会	農家の仕事	6	14	7	1053
		生活	生きものの観察				
		国語	民話に親しむ				
		総合	手話指導 点字指導 盲導犬の理解 命のつながりの大切さ				
47宮城小	1. ティーチャー型	国語	書きぞめ教室 おはなし会 昔語り	16	45	28	471
		社会	歴史教室				
		体育	ヒップホップダンス 水泳教室				
	2. ボランティア型	国語	読み聞かせ				
48海老根小	1. ティーチャー型	国語	お話会	10	21	10	227
	2. ボランティア型	総合・生活	和紙作り指導				
49御館小	1. ティーチャー型	総合	地域の畜産業 葉たばこ見学 柳橋歌舞伎化粧体験 紙漉き体験	7	11	10	96
		生活	地域の民話や絵本の読み聞かせ				

令和3年度 地域学校協働活動推進事業（活動内容・回数等）

【地域力を生かした働き方改革】中学校

学校名	活動区分	教科等	主な内容	回数	時間数	講師数	参加生徒数
01日和田中	1. ティーチャー型	総合	命の尊さを学ぶ	7	13	12	429
		音楽	和楽器について学ぶ				
02行健中	1. ティーチャー型	音楽	和楽器の学習	3	9	8	146
03明健中	1. ティーチャー型	家庭	茶道教室	5	12	9	774
		保健体育	思春期講座				
		音楽	和楽器講習				
04安積中	1. ティーチャー型	総合	思春期講座	2	2	2	223
06三穂田中	1. ティーチャー型	音楽	和楽器体験授業	4	14	9	112
		技術	もの作り(木工)体験授業				
07達瀬中	1. ティーチャー型	総合	伝統芸能「鞆舞」講習 思春期講座 薬物乱用防止教室	7	11	17	151
		音楽	和楽器講座				
08片平中	1. ティーチャー型	総合	うねめ太鼓指導	9	18	13	513
09喜久田中	1. ティーチャー型	音楽	和楽器講習	2	6	7	139
		総合	読み聞かせ				
10熱海中	1. ティーチャー型	音楽	和太鼓の指導	1	6	2	63
12高瀬中	1. ティーチャー型	保健体育	性教育	2	8	2	254
		音楽	音楽科授業支援				
13郡一中	1. ティーチャー型	音楽	和楽器教室	3	9	7	490
		総合	性教育講座				
14郡二中	1. ティーチャー型	学校行事	音楽活動推進事業	4	16	4	697
		音楽	日本の伝統音楽				
15郡三中	1. ティーチャー型	総合	メンタルヘルス講座 思春期講座 職業講話	9	15	11	788
		国語	詩の講座				
		音楽	和楽器講習会				
16郡四中	1. ティーチャー型	音楽	和楽器指導	2	6	7	223
		保健体育	スケート教室				
17郡五中	1. ティーチャー型	総合	思春期講座	5	21	5	502
		音楽	和楽器講習会				
18郡六中	1. ティーチャー型	音楽	日本の音楽文化体験事業	4	12	5	282
		合唱部指導	合唱指導				
19郡七中	1. ティーチャー型	国語	書道の指導	6	14	6	317
		音楽	和楽器の指導				
20緑ヶ丘中	1. ティーチャー型	道徳	人権教室	4	10	4	436
		社会	租税教室				
21富田中	1. ティーチャー型	合唱部指導	発声・曲の仕上げについて	3	6	3	48
22大槻中	1. ティーチャー型	総合	性に関する学習会 和楽器講習会	4	11	4	427
23小原田中	1. ティーチャー型	保健体育	喫煙防止教室	2	5	4	168
		音楽	和楽器体験授業				
24宮城中	1. ティーチャー型	総合	海老根和紙手漉き体験	3	7	6	55
		技術	植物栽培体験				
25御館中	1. ティーチャー型	総合	歌舞伎学習	5	10	15	235

令和3年度 地域学校協働活動推進事業（活動内容・回数等）

【地域力を生かした働き方改革】義務教育学校

学校名	活動区分	教科等	主 な 内 容	回数	時間数	講師数	参加児童生徒数
義1西田学園	1. ティーチャー型	社会	田植え・稲刈り体験 絵付け体験	11	25	21	614
		総合	ホタル学習 生命の誕生 育児体験				
		音楽	雅楽体験				
		国語	書きぞめ				
		生活	命の学習				
義2湖南小中	1. ティーチャー型	生活	民話学習	11	26	11	426
		社会	道具とくらしのうつりかわり				
		体育	スキー学習				

令和3年度

【地域力を生かした働き方改革】小学校（所見・感想等）

児童感想： 講師感想： 主な学校所見： _____

<01 日和田小>

- 国語科の学習として、地域人材を活用しながら俳句教室を実施した。昨年度はコロナの影響もあり実施できなかったため、低学年で1学級2名の講師が指導できるように、連絡調整を図って実施できた。すべての児童が俳句を完成させ、先生や児童の前で作品を発表した。専門的な知識を持った方に指導していただくことにより、児童の興味関心が高まり、意欲的に活動する姿勢が見られた。
- 音楽科の学習として、地域人材を活用しながら箏教室を実施した。5・6年生を兄弟学級として2クラスずつ実施できた。箏を人数分準備していただいたので、どの児童も楽器に十分慣れ親しむことができた。

<02 高倉小>

- 地域人材を活用することにより、自分たちが住んでいる地域のことについて学ぶよい機会となった。また、伝統文化等を身近に感じたことで、「ふるさと高倉」への愛着が深まり、大切にしていきたいという気持ちに深まりが見られた。
- 地域の方々も環境整備や共に学習していただく中で、児童に親しみを覚え、地域と学校が一体となって児童を育てていこうとする風土が一層強化された。
- 第3学年では、地域に伝わる民話の「語り」を教えていただき、全校生や保護者の前での発表へと発展していった。その取組が多くの特賞を受け、3年生の学びへの自信につながった。
- 視覚障がい者や盲導犬、箏・尺八等日常生活ではあまり出あうことがない「人・もの・こと」に直接触れ、大いに見識を深めることができた。また、様々な出あいがきっかけとなり自分の生き方について考えを深めることができた。

<03 行健小>

- 総合的な学習の時間の学習として、5年生に地域人材を活用しながら、「命をつなぐ授業」ということで、赤ちゃんを抱っこしたり、あやす真似をさせたりした。そのことにより、子どもたちは、母親が自分を育てるためにどのような苦勞をしたかとか、命を大切にしなければいけないということを身をもって感じることができた。
- 音楽の学習として、6年生に雅楽「越天楽」を生で鑑賞する機会を設けた。子どもたちは、教科書でしか見たことがなかった日本の歴史ある音楽に触れることができ、大変興味をもって授業に臨むことができた。

(児童感想)

- 赤ちゃんの体は大きいのに、あんな小さい穴から出てくるところがすごいと思いました。母はやはり強いということも分かりました。また、心に残ったことは、命のリレーがあって私にパトントンタッチされたということです。私は先生の話聞いて、このリレーをつなげていきたいと思いました。

<04 行健二小>

- 学校近くの講師所有田での稲刈り・脱穀等の体験活動では、講師による丁寧なご指導をいただいた。そして、収穫の喜びを味わう活動まで、大変充実したものとなった。
- 本の読み聞かせでは、工夫された表現や技法により豊かな情操を養うことができた。
- 和楽器指導では4年生、5年生共に普段は触れることができない和楽器（琴・三味線）を講師の方々がたくさん持ち込んでくださり、それに触れ、実際に弾くことで、その良さを十分に体感することができた。
- 体験的活動に専門的な知識や技能をもつ人材を招聘しご指導いただいたことで、今年度も子ども達の学習の充実を図ることができ、大変効果的であった。

(児童感想)

- 米作りの大変さや苦勞、米ができた時の喜びなどが分かった。
- 米一粒一粒を大切にしたいと思った。
- とても面白いお話ばかりで、楽しかった。
- お話を聞きながら、色々な想像ができた。

<05 明健小>

- 例年、国語、社会、音楽、家庭科、英語表現科等において、地域の方々から専門的なご指導をいただき、本校の教育目標である「総合的な学力」と「たくましい心」を身に付けることができています。しかし、本年はコロナの影響で、地域のお年寄りや保護者の方々に来校を遠慮していただくことになり、活動が制限されてしまったことが残念である。

(児童感想)

- (米作りにて) 地域の中田さんか、コンバインを学校に持って来てくださり、乗せていただきました。稲作りの大変さと同時に、楽しさも話してくださり、自分もお米や野菜を作りたいと思いました。

<06 小泉小>

- 新型コロナウイルス拡大のため実施できないものもあったが、学校の予算だけでは実施できない活動を取り入れることができた。コロナ禍でも、感染防止対策を講じ、体験活動等を実施したことは、子ども達の豊かな人間性を育むうえで、大変有効であったと思われる。
- 外部講師の方の専門的な知識や技術に触れることは、とても貴重な機会であった。

<07 行徳小>

- 総合の学習として、地域人材を活用しながら、地域の歴史について学んだ。専門的な知識を持った方に指導していただくことにより、児童の興味関心が高まり意欲的に活動する姿勢が見られた。
- 音楽科の学習では、地域の方を講師として3年生と4年生を対象に木管楽器と金管楽器の成り立ちやそれぞれの音色に触れる機会をもった。児童が嬉々として興味を示し、それぞれの楽器の演奏に聴き入っている姿が見られた。
- 国語科(書写)の学習では、地域の人材を活用しながら3・4・5年生を対象に書きぞめ教室を行った。講師の方から筆使いや字形など専門的なアドバイスをもらい、どの児童も熱心に筆を進めている様子が見られた。
- 1・2年生では、学級活動の時間に地域の方を講師としてお招きし、男女の体の違いや赤ちゃんが生まれてくる様子について学習した。低学年向けにわかりやすく説明していただき、1・2年生も話に聞き入っていた。

<09 安積第二小>

- 水泳及び着衣水泳の学習では、4回にわたって3名の講師においでいただき、安心して水遊びに親しんだり、高学年の児童がレベルの高い指導を受けたりすることができた。また、専門家による指導は、教師にとっても参考になる内容が多くあった。
- 書きぞめの学習では、講師とのパイプ役を安積南地域公民館主事に依頼し、とてもよい講師を紹介してもらうことができた。3年生から6年生の発達段階に合った指導、時間配分も申し分なく、児童にとっても担任にとっても、たいへん満足度の高い授業となった。
- 郡山の食の授業でおいでいただいた講師は、野菜の専門家であるとともにメディアでの情報発信の機会も多く、小学3年生にも親しみやすい話し方で対応してくださり、とても分かりやすかった。
- 1, 2年生のリズム遊びの学習では、ゴールデンエイジの児童にいろいろな体の動かし方を体験させることができ、児童はリズムに乗って楽しそうに体を動かしていた。

(児童感想)

- 色々な郡山ブランド野菜のことを知れて良かった。1年間で80種類もの野菜を育てていることを

初めて知った。

<10 安積第三小>

- 生活科の学習として、地域人材を活用しながら、1, 2年生で性教育「おへその話」を実施した。担任が指導すると、照れたり恥ずかしがったり、ふざけたりする児童が多くなると予想される内容だったが、外部講師の先生が指導したことで、子どもたちは真剣に話を聞き、相手を思いやることが大切だと気づくことができた。
- 低学年と支援学級で読書の楽しさを味わってもらう授業を実施した。講師は安積地区青少年健全育成会会長で本校のコーディネーターでもある佐藤明子さんをお願いした。様々な本を織り上げて、本の楽しさ、本を読むと世界が広がることを教えていただいた。子どもたちは生き生きと絵本の世界に没頭することができた。
- 6年生の講師として南美野合奏団の春山さんを講師に迎え、音楽の授業を実施した。コロナ渦の中であったので、実際に演奏はできなかったが、オーケストラ演奏を紹介していただき、豊かな情操を養うことができた。

(児童感想)

- わたしたちのからだには、見えるところと見えないところがあって、どれも大切なことがわかりました。
- たのしい絵本をいろいろ教えてもらいました。図書室にいて、いろんな本を読みたいと思いました。

<11 永盛小>

- 国語科および総合的な学習として、地域の人材を活用し、俳句教室を実施した。全ての児童が俳句を詠み、気に入った俳句をコンクール等に出品した。全校集会の時間に表彰式を行い、講師の先生から講評をいただいた。来年度への活動意欲も高まり、充実した学習を展開することができた。
- 総合的な学習「ふるさとを知ろう」として、地域の人材を活用し、笹川地区のあばれ地蔵について①歴史の話②紙芝居③民話の講演の3本立てで詳しく学習することができた。
- 総合的な学習として、プログラミングに関する基本的な知識の理解と体験活動を行った。専門家に丁寧に指導していただき、大変有意義な学習を展開することができた。

<12 柴宮小>

- 新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの計画変更等が続いてしまったが、日程や内容に工夫を加えながら、できる部分を探り、運営することができた。「昔あそびをしよう」の活動では、地域学校協働活動推進事業と生活科の学習を関連させながら展開し、地域の方々にご尽力いただきながら、笑顔ひろがる時間となった。「けん玉名人に学ぼう」の活動では、クラブ活動の時間と関連させながら、楽しく活動を展開することができた。「書き初め学習会」では、県の書き初め展にむけて、6年生がクラスごとに計画的に練習することができた。どの事業も、子どもたちにとって学びの発展につながる基礎を培う貴重な時間となった。

<13 穂積小>

- 安積疏水や命の授業、和楽器体験など、実際にその内容の仕事や活動等に携わっている方々から直接お話を伺ったり、体験をしたりすることで、様々な興味関心を持つことができ、より深い学びにつなげることができた。また、普段の学習では体験できないトランポリンやダンスの指導を受け、進んで体を動かす楽しさを味わい、率先して運動するようになった。
- 和楽器体験や命の授業、安積疏水学習の講師から、児童の素直に学ぶ姿勢に感銘を受けたとのお話をいただいた。指導に来てよかったと話されていた。
- 地域の人材を講師として学校に招くことで、児童が地域の良さに気づきの深い学びにつなげることができた。感染症予防に配慮しながら、児童に専門的な知識を持つ講師による指導の機会を多く持てたことは大変有意義であった。

(児童感想)

- ダンスを3～1年生までのみんなと一緒に教えてもらいながら踊ったのが楽しかった。家でもやります。

<14 三和小>

- 国語科の学習として「民話を聞く会」「民話を語ろう」を4年生で実施し、三穂田町に伝わる民話の学習をすることができた。講師の方の語り口(方言)に魅了され、子どもたちは、講師の先生から教えていただいたことを、何度も何度も練習し、学習発表会で披露することができた。地域の方言が薄れていっている今、子どもたちも、保護者の方も地域のよさ、文化等をもう一度見直すよい学習となった。
- 専門性の高い講師の先生方にご指導いただくことで、子どもたちの興味関心が高まり、意欲的かつ集中して活動に取り組むことができた。
- 水泳、書きぞめ、和楽器体験など実技を伴う活動において、的確なアドバイスと、実態に応じた実技をしながらの支援が子どもたちの技術向上につながった。また、目に見える技術の向上が、子どもたちにできた喜びと満足感をもたらしていた。
- 民話や人形劇鑑賞においては、表現力の素晴らしさや多様な表現方法に触れ、子どもたちの表現力向上、育成の一助となった。

<15 多田野小・堀口分校>

- 体育科の学習として、「リトミック教室」を行った。講師の方の生のピアノ伴奏に合わせてダンスするなど、全身を使って身体表現をさせていただいたことで、より楽しく表現活動することができた。
- 読み聞かせでは、昔話の読み聞かせに加え、手遊びも交えたお話を聞くことができた。子ども達は、楽しいお話の世界にひたることができた。また、「お話玉手箱」の方には、ブラックシアターによるお話会を開催していただいた。高学年の子どもたちも、その技法や雰囲気作りに感動し、お話の世界に引き込まれていた。
- 「茶道教室」では、実際にお茶をたて、作法を教えていただきながらお茶をいただくことができた。古来の日本文化に触れ、社会科の学習にも役に立った。
- 助産師の吉岡先生による「命の学習」では、生命の誕生やその尊さについて深く考えるよい機会となった。
- 読み聞かせ・ダンス・茶道教室・お囃子体験など、専門的な知識を持った方に指導していただくことにより、子どもたちの興味関心が高まり、意欲的に活動する姿が見られた。
- 地域のよさを生かした活動を分校全体で行った。児童も講師も満足感・充実感のある活動を行うことができた。「田植えをしよう」「稲刈りをしよう」では、地域の方を講師に招き、分校の田んぼで活動した。講師の先生の話聞き、上級生が下級生を助けながら取り組むことができた。「堀口の自然探検」や「花や野菜を育てよう」では、講師の先生の説明を聞きながら、身近な生き物にふれあったり、分校の畑にサツマイモの苗を植えたりすることができた。

<16 河内小>

- 3年生が、社会科「はたらく人と私たちの暮らし」の学習で酪農家と大葉農家を見学しました。直接農家の方の話聞くことで自分たちの暮らしを支えている人の思いに触れることができた。
- 性に関する指導教室では、全学年が発達段階に応じた指導を受けることで、友だちを思いやる心や違いを受け入れる心を育てることができた。また、自分の体や心の変化に向き合うきっかけとすることができた。

(児童感想)

- 友達を大切にしようと思いました。
- 友達と違っていてもいいので安心しました。

<17 片平小>

- 身近な「ふるさと学習」に関わる学習内容を取り上げ、地域の講師を選定することにより、子ども達は意欲的に取り組み、主体的な活動を行うことができた。
- 専門的な知識や技能を持った講師を招くことにより、ねらいに沿った学習を深めることができ、子ども達の多くが達成感を持つことができた。
- 学校ではできない農業体験や職業体験をすることにより、人間が生きることに必要な仕事や生活について学び、達成感や成就感を味わうことができた。
- 地域講師の多くの方が「やりがいを持って授業に取り組めた」との感想を寄せてくださった。
- 事業を通して、地域の子どもたちは地域全体で育てていくという意識の高揚を図ることができた。

(児童感想)

- いもにたくさん土が付いていて大変だったけど、いっぱい採れてうれしかった。

<18 喜久田小>

- 体験活動が充実され、教科で学んだ知識や技能が総合的に生かされる場となることで、内容の理解を一層深めることにつながった他、児童一人一人の学ぶ意欲を高める上で、大いに成果を上げた。
- それぞれの活動で、各分野における経験豊富な優れた人材を講師として招聘できたことにより、より専門的な内容を児童に学ばせることが可能となり、質の高い授業展開が図られた。さらに、地域や保護者と連携した望ましい学びの在り方に関する示唆を得ることで、日常の授業の改善及び指導力向上につながった。

<19 熱海小・石筵分校>

- 5, 6年生の外国語科の授業において、年間を通して継続的に招聘した。英語の発音や表現方法について高い技能を持っている方で、授業の中で英語に対する興味や関心、コミュニケーション能力を高めることができた。
- 書写指導では、書きぞめ展に向けて地域の書道家を招聘した。書くときの姿勢、筆遣いのコツ、時のバランスなど丁寧に指導して下さり、児童の技能の向上が見られた。
- お話会では、民話伝承の先生を講師として招聘した。地域に伝わる民話を聞くことで、民話の楽しさや地域の伝統文化を知ることができた。
- 春と秋に地域の野菜作りの名人を招聘し、春は畑作りと苗植えを、秋には収穫を行った。野菜を育てるために畑を耕すことや栄養の大切さを学び、収穫への見通しを持って栽培し、秋にはたくさんのサツマイモを収穫する事ができた。

(児童感想)

- 話すだけだから普通に話すのかと思っていたら、ただ話すのではなく、みんなに伝えるように感情や想いも一緒に話していると思いました。先生の話聞いてると話しているだけなのに私の頭の中にその話の絵が浮かんできました。

<20 安子島小>

- 「すすく水田」の活動では、もみまきから収穫までの米作りを体験することができた。老人会や婦人会など地域の方々や触れ合いながら活動するというもう一つのねらいは達成できなかったが、収穫祭では、米作りの苦労や収穫の喜びを縦割り班ごとに工夫して発表することができた。
- 読書指導では、読み聞かせ活動やブラックシアターの鑑賞を通して、児童の読書への興味や意欲を高めることができた。
- 雅楽教室では、貴重な雅楽の生演奏を目の前で鑑賞し、打楽器の演奏を体験したことにより、日本の伝統文化のすばらしさに触れることができた。

(児童感想)

- 社会科の歴史で清少納言や紫式部を学習しましたが、その頃の人が聴いていた笙の音を、今の時代に聴けるのはすごいなと思いました。

<21 守山小>

- 第5学年の総合的な学習の時間「食とわたしたち」の学習では、地域で酒造りを営む仁井田本家の方をお招きし、資料をもとに、「田を守り、水を守る」という理念のもと、米作りからこだわった酒造りへの取り組みについて教えていただいた。また、地域で農業を営む鈴木農園の方をお招きし、映像資料などで、ドローンなどを使った新しい農業の取り組みについて教えていただいた。二つの取り組みを通して、食の歴史と未来を学ぶことができ、今後の食料生産への興味・関心の向上を図るとともに、地域の誇りや愛情を育むことのできる大きなきっかけとすることができた。
- その他の活動においても、予算を有効に活用しながら優れた地域の人材を活用し、その専門性を生かした有意義な体験活動を数多く実施することができた。

(児童感想)

- お酒を造るのに、まず水や米など、原材料からこだわっているところがすごいと思いました。
- なめこが大きくてびっくりしました。農業にドローンが使われていて興味がわきました。

<22 御代田小>

- 国語科の学習として、地域人材や退職教員を活用しながらお話を実施した。低学年は、お話の世界にひたることで、自分でも本を読んでみようという気持ちを持つ児童が増えた。図書室の本の貸出冊数もどんどん増えていった。中・高学年は、教科書教材の関連図書や地域に伝わる民話を聞くことで、読書の幅を広げたり地域への理解や愛着を深めることができた。講師の方々も、「この時間**が**とても**楽し**みだ。」と話していた。
- 4年生の総合的な学習の時間では、盲導犬の仕事や視覚しょうがいがあることによる生活の不自由さを知ることで、自分たちにできることややるべきことを一人ひとり考えることができた。また、社会科の学習では、安積疏水について様々な資料にもとづいた講話をしていただいたことで、授業で学習した知識や先人の思いをさらに深めることができた。

(児童感想)

- 何百年も前の御代田の話聞き、身近にそんな昔話があるんだなぁと関心を持ちました。

<23 高瀬小>

- 生活科の学習「秋とあそぼう」で1年生を対象に実施しました。木材や木の実等を活用して、キーホルダーの製作を指導していただきました。子どもたちはとても楽しそうに製作活動に取り組むことができました。
- 国語科書写の学習として、3～6年生を対象に書きぞめ教室実施しました。専門的な知識や技能を持った方に指導していただくことにより、書きぞめの指導だけでなく、筆の持ち方や使い方等の基本的な指導もしていただきました。書道に関する児童の興味関心が高まり意欲的に活動する姿勢が見られました。
- 体育科の学習として3年生を対象にダンス教室を実施しました。専門的な知識や技能を持った方に指導していただくことにより、ダンスを通して体を動かすことの楽しさが高まり、体育の授業に関する意欲の向上が見られました。
- 国語科の学習として、1～2年生を対象に実施しました。子どもたちの興味を持ちやすい物語の選定や、卓越した読み聞かせる技能により、子どもたちは物語の世界へ引き込まれていました。

<24 谷田川小>

- 生活、総合の学習として、地域人材を活用しながら米作りなどの農業体験を実施した。作業の仕方をご指導いただきながら、手作業での田植えや稲刈りを体験できたことは、児童にとって大変貴重な経験となった。児童は農業の大変さや大切さを実感し、農業従事者に感謝の気持ちをもつことができた。
- 地域講師の方々には、児童と一緒に活動することで元気をもらえたと喜んでいただけた。コロナ禍で地域の方々との交流が制限される中、有意義な機会となった。

(児童感想)

- 今日稲刈りをしてお米の大切さなどを学ぶことができました。いつも私たちが食べているお米はたくさんの人が手間をかけて作っているんだなと思いました。これからもお米や野菜を作ってくれる人たちに感謝して残さず食べていきたいです。

<25 金透小>

- 専門的な技能をもつ講師に教えてもらうことで、児童は生け花を生けたり、ギターを弾いたりする技能の向上を図りながら、主体的に楽しく活動することができた。
- 講師の先生方には、地域の子どもたちのため、自分の専門的なスキルを活かしながら指導することに、やりがいを感じていただいた。
- 地域と学校の連携を図ることで、教師の指導負担を軽減し、働き方改革を進めることができた。

(児童感想)

- 花をきれいに生けることができうれしかったです。母に、私が生けた花をあげたら、とても喜んでくれました。生け花クラブに入って、本当に良かったです。
- ギターはすごく難しいだろうな、自分に音は出せるだろうかと思っていたが、いざやってみると、きれいな音が出せてとても達成感がありました。先生に教えていただいて、ギターが身近になりました。

<26 芳山小>

- 楽器演奏経験のある方をお呼びし合奏部の指導をしていただき、演奏の基本を身に付けることができた。また演奏に向かう意欲が高まった。
- 体育科の学習として、スイミングスクールのコーチを招き、水泳教室を実施した。浮く・もぐるポイントをわかりやすく指導していただき、水に親しみ楽しそうに活動する勢が見られた。
- 音楽の学習として、箏や三味線の演奏を体験した。数多くの箏や三味線を持参いただいたおかげで、楽器に触れる時間が確保され、意欲的に学習に取り組む姿が見られた。
- 国語科の学習として、書初め指導をしていただいた。筆の運び等、丁寧に指導していただいたため、よい作品がたくさん仕上がった。

<27 橘小>

- 「おはなしたまご」の本の読み聞かせは、子どもたちの興味をひく始まりの工夫が見られ、スタートから子どもたちが引きこまれていく様子が見られた。学年の発達段階に応じたお話と手法で、もっと聞きたいと思わせるほど充実した時間となった。子どもたちの情操教育の一助になったとともに、読書への興味関心が高まった子も多く、終わるとすぐに図書室へ足を運ぶ姿もあった。図書室の利用児童の増加にもつながった。
- 和楽器体験教室は、子どもたちの活動時間が十分にあり、時間の中で演奏できるようになった喜びを味わうことができた。なかなか体験することができない日本の伝統的な楽器に楽しく触れる機会にもなったことがよかった。

(児童感想)

- 郡山市にも昔々のお話があることがわかって、すごいなと思った。
- 自分でも図書館で本をさがして読みたいと思った。
- 最初は弾けるか少しドキドキだったけど、教えてもらってやってみたらできるようになったのうれしかった。
- 階名がドレミではなくて、数字だったのでびっくりした。音階も違っていて不思議だった。

<28 小原田小>

- 9月に予定していた1～3年の読み聞かせは、コロナ感染拡大防止を優先し、12月に実施した。
- 4～6年書き初め教室、6年和楽器体験教室、3年ダンス教室は予定通り実施した。

(児童感想)

- 話し方がとても上手で、物語の内容がよくわかり楽しかった。本が好きになった。
- 筆使いのポイントがよく分かり、上手に書けるようになった。
- 和楽器のよさがわかりとても勉強になった。
- 先生に教えてもらったことをもっと練習して上手に踊れるようになりたい。

<29 開成小>

- 体育科の水泳の学習で地域人材を活用。特に、低学年時に身に付けさせたい”もぐる・浮く”の学習内容を、専門的な知識を持った方に指導していただくことで、児童が「楽しい」と意欲的に水に慣れ、親しむ様子が見られた。
- 総合的な学習の時間で3年「地域の自然や歴史を知る」、4年「地域から福島県へ」では映像を使ってお話しいたいたり、昔語りで歴史を知ることができ、児童達の関心を高めたり、郷土への理解を深めたりすることにつながった。

<30 芳賀小>

- 地域を生かした働き方改革においては、音楽や体育・生活科などの授業における体験学習のゲストティーチャーとして講師や専門家の方々にご来校いただいた。昨年度よりたくさんの講師の方々においでいただくことができ、本物にたくさん触れる経験をしたことで、子どもたちは、生き生きと楽しく活動することができたり、学びを深めたりすることができ、大変有意義な機会となった。

(児童感想)

- 「さくらさくら」を演奏しました。意外と簡単に弾きけました。三味線も初めて弾いたけど上手に弾けてとても楽しかったです。
- 来年の干支の虎の張り子に色を付けるのが難しかったです。特に細いしっぽに色を付けるのが難しかったです。でも、楽しく活動することができました。

<31 桃見台小>

- 地域人材の講師と全校生がふれあいを楽しみ、地域の講師の方々は子どもとの活動を生きがいとされている。また、子どもの成長を支えているという思いが強い。
- それぞれの活動や学習において、専門的な技術・知識を持った方々からご指導をいただいたり、本物に触れたりする体験を通し、子どもたちは感動し、心までも成長させることができた。
- 長年にわたり講師をしてくださっている地域の方々、子どもの成長を喜び、学校外でお会いした際に挨拶を交わすなど、この事業が地域と学校をつなぐ役割を担っている。

<32 赤木小>

- 校地内や公園の樹木観察により身近な自然を学習したり、語り部の方を通して民話の世界に触れたりする活動を通して、地域の自然や文化などに対する興味・関心を高めることができた。
- ゲストティーチャーによる専門的なダンスの指導を受けることで、単なる体験活動にとどまらず学習内容に対する理解を多面的に深め、より充実した活動を行うことができた。
- 豊富な体験や専門的な知識に基づくゲストティーチャーの指導により、生命尊重の意識や性差別解消への意欲をより高めることができた。

<33 薫小>

- 国語科の学習として、地域人材を活用しながら、3、4、5、6年の書写の時間に書き初めを学習しました。上手に文字を書くときのポイントについて指導をしていただいたおかげで、毛筆への関心が高まり意欲的に学習する姿が多く見られました。
- 総合的な学習の時間に5年「大豆の育て方」や3年「郡山のブランド野菜づくり」や4年「安積開拓、安積疏水」について詳しい内容の話を聞いたり、野菜作りを体験したりすることで、新たな発見

や学びをすることができました。

- 国語科で民話の話を聞くことで、地方に伝わるお話の魅力やお話のおもしろさに触れ、読書に関する興味、関心が高まりました。

(児童感想)

- 郡山にもブランドの野菜があるなって初めて知っておどろきました。
- 昔話を聞いてとてもおもしろかったです。また、聞きたいです。
- 命は、ずっと昔からつながっていることを知り、改めて命の大切さを感じました。

<34 富田小>

- 茶道クラブや将棋クラブでは、専門的な知識を持った方に指導していただくことにより、児童は関心意欲を高めるだけでなく、知識や技能も身に付けることができた。
- 箏教室、よさこい教室では、専門的な見地からのご指導によって、子どもたちは、高いレベルでの学びを進めることができた。教科書だけでは経験することのできない体験ができたことに、子どもたちは大きな喜びと満足感を感じていた。子どもたちの感想からも活動の充実ぶりがうかがえた。

<35 富田東小>

- 授業のねらいを達成するために、専門的な知識や技能を有する方々を外部講師として活用することができたことにより、児童は学習への興味や関心をより深く、意欲的に参加することができた。
- 外部講師の方からは、「子どもたちが真剣な表情で聞き入ってくれるので、楽しく活動することができました。」との感想があった。

<36 富田西小>

- (1年) 国語科の学習において、読み聞かせを通して子ども達が本の世界への興味・関心を広げることができた。(のはらうたなどの詩集や、昔話・数え歌、紙芝居など)
- (2年) 国語科の「日本や他の国の文化に親しもう」の学習で、読み聞かせを通して子ども達が本の世界への興味・関心を広げることができた。(アーノルド・ローベルの作品、昔話、クリスティーナとおおきなほこなど)
- (3年) 国語科の学習において、読み聞かせを通して子ども達が本の世界への興味・関心を広げることができた。(今回は特に日本や世界各国の民話を中心とした紹介)
- (4年) 地域に伝わる「うねめ太鼓」の体験を通して、日本の伝統的な楽器の演奏に親しむとともに、伝え残そうとする保存会の方々の願いを知り、地域に関する理解を深める事ができた。
- (5年) 日本の伝統的な楽器である箏と三絃(三味線)に実際に触れ、曲を奏でることにより日本の文化についての興味関心が高まり、西洋音楽とは異なるよさを感じ取る事ができた。
- (6年) 絵手紙の基本である筆の持ち方、絵の描き方や文字の書き方等を学び、家族などに対する感謝の気持ちを絵と言葉で表現し、その楽しさを味わうことができた。

<38 白岩小>

- 地域にお住まいの講師の方にご指導いただくことで、継続的な活動となっており、児童は毎年楽しみにしている。また、回を重ねる毎に改善を図り、円滑に実施することができている。
- 地域の講師の先生からは、毎年やりがいを感じながら授業に取り組んでおり、児童との交流を大変楽しみにしているとの感想をいただいている。

(児童感想)

- 初めて本物の箏を見たり、触ったりできてうれしかった。
- 書写の先生が丁寧に筆使いを教えてくれたので満足のいく字が書けた。
- 初めて篆刻というものをやった。自分だけの印、宝物にしたい。
- 陶芸の先生のろくろの技はすごかった。自分もやってみたいと思った。

<39 東芳小>

- 今年度も和楽器教室や曲がりネギ学習など、様々な分野で専門的に講師の先生をお招きし、講演や実演していただいた。子どもたちは、専門的な話や日常生活では感じる事ができない話を聞いたり、実際に触れたりすることができ、とても意欲的に取り組むことができた。

<40 桜小>

- 地域の方々による専門的な知識や技能、優れた人間性や生き方などに触れ、子どもたちの主体的な学びや他を思いやる心の育成を図ることができた。また、様々な教科等の中で、特色ある教育活動を行ったことにより、普段の授業では味わえない各教科の学びの楽しさを感じる事ができた。
- 地域人材の講師の多くの方々から、「子どもたちが一生懸命話を聞いてくれた。」「子どもと接して楽しかった。」「子どもから学ばせてもらうことができた。」等の感想が寄せられた。

(児童感想)

- 私は赤ちゃんを産むのは痛くていやだなと思っていたけれど、先生の話聞いて、赤ちゃんを産むのはとてもうれしいんだなと思いました。
- 自分も大事にするけれど、友達も大事にすることをずっと続けていきたいと思いました。

<41 桑野小>

- 本校では、地域や民間の方々との「ふれあい」を核とした特色ある学校づくりを進めてきた。生活科や国語科、体育科、学級活動において、児童が自ら課題を見つけ、それを解決するために、地域や民間の方々の教育力を活用できるよう指導の改善と充実に努めてきた。自分自身のことや自分の周囲のことに目を向け、自ら学び、考え、主体的に学習する児童を育成することができた。また、地域の方に学校教育に関わっていただくことで、地域の教育力の向上や地域の方の生きがいつくりにも寄与することができ、実りのある教育活動を推進することができた。

<42 大島小>

- 専門的な知識、技能を持つ人材を招聘して学習することで、学習内容の充実を図ることができ大変効果的であった。

<43 緑ヶ丘第一小>

- 音楽科の和楽器の学習において、琴の先生を講師として招いて授業を実施することができました。6年生の子ども達全員が実際に琴に触れ、意欲的に活動する姿が見られました。
- 交通安全教室では、緑っ子サポーターの協力を得ながら、安全な自転車の乗り方や歩行の仕方を学ぶことができました。
- 人権擁護員を講師として招き、偏見やいじめなどについて学ぶ人権教室を行いました。講師と担任がT・T授業をすることにより学習の効果も上がりました。
- 1年生の生活科において緑っ子サポーターの皆さんから昔あそびを教わりました。コマ回しやお手玉など各コーナーに分かれて体験活動を行い、みんな楽しそうに活動することができました。

<44 小山田小>

- 全学年がスイミングインストラクターの先生に水泳指導を受けた。また、4年生が琴奏者の演奏指導を受けた。専門的な技術を持った方に指導いただくことで、児童の興味関心が高まり、意欲的に活動する姿が見られた。
- 4年生の総合的な学習の時間で、盲導犬と生活する視覚障害者のお話を聞いた。また、3年生は郡山の伝統野菜を作っている農家の方の話を聞いた。当事者の実際の話聞くことで、書籍などでの調べ学習では得られない、実感としての理解を得ることができた。
- 低学年では2年生が語り部の昔話を聞いたり、助産師による赤ちゃんの誕生についての話を聞いたりした。普段の授業ではできない体験は、特に小さな児童にとって視野を広げる大事な機会となった。
- 特別支援学級の自立活動として陶芸教室を行った。専門的な技術を持った方に指導していただき、

普段できない体験をすることは、特別支援学級の児童の成長に大変良い影響を与えた。

<45 大成小>

- 各教科等の活動において、専門的な知識・技能をもって指導いただき、児童も教科書では学ぶことができない内容を教えていただいたり、普段できないことを実体験を通して経験させていただいたりすることができ、学びを深めることができた。
- 国語科の学習として、書きぞめ教室を実施した。筆の入りや字配り等のコツを教えていただき、納得のいく作品をコンクールに出品することができた。
- 社会科及び総合的な学習の時間では、地域の農家の方を講師に招き、農業体験や畑の見学をさせていただいた。農家の方の思いや苦勞、工夫などを知ることができ、食の大切さについてより深く考えることにつなげることができた。
- 音楽科では、箏の授業を実施した。実際に体験させていただいたり、箏の歴史を教えていただいたりしたことで、日本の伝統的な音楽について、より知識を深めることができた。
- 体育科では、ダンス講師を招き、ヒップホップの体験をした。体の使い方、動き等を意識しながら、体を動かす楽しさや気持ちよさを味わうことができた。

(児童感想)

- リズムトレーニングの先生はやさしかったです。先生の説明の仕方が上手だったのでわかりやすかったです。ダンスの動きは難しかったけど、楽しかったです。今よりもっと上手になりたいです。
- 先生にコツや筆の動きを教えてもらえて上手な字が書けてうれしかった。

<46 朝日が丘小>

- 地域の自然や産業、人材を生かした体験活動を行うことにより、地域のよさに気づき、そのよさを見つめる良い機会になった。
- 専門的な知識を持つ方から指導を受けることにより、学習内容をより深くかつ幅広く理解し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図ることができた。
- 命の大切さを感じたり、障がいを持つ方の生き方に触れたりすることを通して、相手を思いやる気持ちを高めることができた。
- 地域講師からは、「命の持つ尊さはもちろんのこと、人間は一人一人違って生まれてくるので、個性を大切にしてほしい、というメッセージを子どもたちに伝えることができた。」や「毎年この交流(学習)を楽しみにしている。視覚障がい者や盲導犬についての理解が年々深まっているので、やりがいや満足感もち授業に取り組めた。」という満足した感想が聞かれた。

(児童感想)

- あかちゃんが生まれてくるまでには多くの時間やさまざまな苦勞があることを知った。自分の命のありがたさと両親に感謝したい。
- 目の不自由な方は目が見えないのに、何でも一人でできることがすごい。
- 盲導犬は待っている間、ほとんど動かないでいておりこうだと思った。もっと盲導犬や聴導犬、介助犬などについて知りたい。

<47 宮城小>

- 体育科の学習として、各領域の専門家を活用し、水泳教室・着衣水泳、ヒップホップダンス教室を実施しました。児童は、それぞれの活動に本気に取り組み、体力・運動能力の向上に役立ちました。
- 国語科の学習として、地域人材等を活用しながら、おはなし会、書きぞめ教室、「昔語り」の会を実施しました。児童は、地域の昔話に親しんだり、書写の技能を高めたりすることができました。また、図書ボランティア(読み聞かせ)、図書館環境整備により、豊かな読書環境の中読書に親しむ児童が増えました。
- それぞれの分野で活躍されている講師の方々により専門的な視点からの指導をしていただくことにより、児童は興味・関心を持って各活動に取り組み、意欲や技能等の向上を図ることができました。また、教師についても、専門的な指導を目の当たりにすることで、指導力の向上に役立てることがで

きました。

(児童感想)

- 25mをクロールで泳ぐことができるようになり、うれしかったです。
- ヒップホップダンスの踊り方がわかり、楽しく踊ることができました。
- とめ、はね、はらいが上手に書けるようになりました。

(講師感想)

- 子ども達は、地域について関心が高まったようです。地域のことを知るとてもよい機会となりました。

<48 海老根小>

- 海老根伝統和紙漉き体験活動では、トロロアオイの種蒔きと収穫、楮収穫、和紙漉きまで、和紙保存会の支援のもとに活動を進めるとともに、高学年児童が1～4年児童に教える場面も大切にしました。児童は、和紙漉きを地域の大切な伝統と感じて活動している。このように、和紙漉き体験活動は郷土愛や地域の人々との関わりを学ぶ重要な活動となっており、本校の特色ある教育の一つとして継続していきたい。
- 読書(読み聞かせ)指導では、専門技術を持つ講師を招いて指導していただくことで、児童の読書意欲を高めることにつながった。また、その後の国語科の読み方の学習にも生かすことにつながった。特に、中田地区に関わる昔話「海老根和紙」についての昔話の学習は、より深く地域が大切にできた思いや歴史について深く学ぶことができた。

<49 御館小>

- 生活科・総合的な学習の時間を中心に学習活動の充実を図ることができた。特に、地域の指導者を講師に招聘して地域産業について学んだり、伝統文化を体験したりできたことは、たいへん有意義であった。特に、今年度からは中田町海老根地区に伝わる「海老根和紙」についての学習を新たに盛り込むことで、昨年度よりも中田町への郷土愛を育む単元を構成することができた。また、柳橋歌舞伎についての学習では、地域の伝統文化に触れ、作法や技術等を身に付けるとともに地域の伝統を守り継承するという意識を高めることができた。さらに、これらの学習で学んだことの成果を児童は、壁新聞にまとめたり、ICT機器を活用したりして発表することもできた。
- 本事業を通して、教師がすべてを指導するのではなく、地域の力を借りて学習を展開していくことが、子どもにとっても有意義で、教師にとっても負担感が薄れていくことが分かった。

【地域力を生かした働き方改革】中学校(所見・感想等)

生徒感想： _____ 講師感想： _____ 主な学校所見： _____

<01 日和田中>

- 総合学習の時間を使い、1・2年生に対して、「命の尊さを学ぶ」学習を行った。講師に迎えた助産師の先生の経験に基づいた説明は、説得力があり、生徒の心に響く授業となった。
- 音楽科の学習として、地域人材を活用しながら、三味線教室を実施しました。ほとんどの生徒が三味線を初めて弾くので、丁寧に基礎的な技能を指導していきながら、最後一曲を引けるまで教えて頂くことができた。専門的な知識を持った方に指導していただくことにより、児童の興味関心が高まり意欲的に活動する姿勢が見られた。

<02 行健中>

- 音楽科の学習として、地域人材を活用しながら、和楽器教室を実施した。和楽器の特徴について十分に理解し、箏などの楽器を演奏した。専門的な知識を持った方に指導していただくことにより、生徒の理解が深まった。

<03 明健中>

- 普段触れることがなかなかできない茶道や箏の体験を通して、生徒の学習意欲を喚起させるだけでなく、日本の文化について考えるよい機会にもなった。生徒たちからは、「もっとたくさん学びたい」という声も聞かれ、意欲的かつ主体的な学習がなされた。また、教科担当の教師にとっても教材研究の場となった。
- 思春期講座では、中学生の心と体の変化について、助産師から講演をいただいた。各学年に分かれての実施であったため、それぞれの発達段階に応じた内容で学習を進めることができた。生徒からは「人の体のことや命のリレーの大切さがわかった。」「命について考える機会がなかったので、これからは命を大切にしようと思った。」「男女の付き合い方にもいろいろあって、恋愛って難しいなと思った。」などの感想があった。命や性について考える絶好の機会となった。
- 校内体験活動において、外部講師を招聘することにより、各分野の専門的な技術や知見を教授いただくことができた。

<04 安積中>

- 1学年、2学年のそれぞれ学年で総合的な学習の時間に地域人材を活用し、思春期講座を実施しました。それぞれの学年の年齢に応じた、性について、男女の心と体についての講話をいただきました。助産師で思春期保健相談師のお二人から、優しい口調でわかりやすくお話しされ、生徒も真剣に聴いていました。
(生徒感想)
- 自分の親やその親などをたどると、星の数ほどの人がいることや、そのうちの1人がいなくなるだけで自分が生まれていないということを知って、自分が生まれたのは奇跡なんだなと思いました。思春期の体のづくりや、心の変化について知ることができてよかったです。今日聞いたことを忘れないようにしたいと思います。
- みんな違うから生きることが楽しいのだと思いました。なので、みんなと違うことは恥ずかしい事ではなく、自分の大切な個性なんだと思いました。

<06 三穂田中>

- 1年生の音楽の授業において「和楽器体験」、技術の授業において「ものづくり体験（木工）」を特別講師を依頼して実施した。生徒たちは、どちらの授業においても、講師陣の専門的な技術指導を受けることを通して、知識や技能を納得を伴った上で理解・習得することができ、達成感や成就感を味わうことができた。
- 技術の講師陣は、郡山建設組合の方々であり、長年にわたり、組織を挙げて支援して下さるなど、学校への協力体制がしっかりと構築されており、本校教育活動への貢献度が高い。また、講師陣も中学生にもものづくりを教えることにやりがいを感じてくださっている。

<07 逢瀬中>

- 教科担当教師からだけでは学ぶことができない専門的な分野や、郷土に伝わる伝統芸能を学ぶ機会を設定することにより、貴重な体験学習となった。本物に触れることにより、豊かな感性をはぐくみ、生徒の情操や生きる力の育成を図り、生徒の豊かな学びの一助とすることができた。
- 郷土の伝統芸能「鍬柄舞」については、地域保存会の方々に御指導いただき、地域に根ざした文化に触れるとともに、これまで以上に地域に対する思いを深め、伝統の大切さを学ぶことができた。
- 和楽器講座では、普段なかなか演奏する機会のない箏、三味線、十七絃に触れ、専門的な御指導をいただくことにより、生徒が演奏することができた。我が国の伝統音楽に触れるとともに、その音色のよさや響きのよさを味わい、豊かな情操を育むことができた。
- 思春期講座では、思春期における大事な約束事や、他を認め尊重することの大切さや自己を見つめ自分自身を大事にすることを深く学ぶことができた。
- 本事業をとおして、生徒たちの新たな学びや気づきの機会を得ることができ、貴重な学習活動とすることができた。

(生徒感想)

- 地域の方に細かい所までご指導いただき、最後まで綺麗に舞をすることができて良い経験になりました。鉦柄舞を通して、伝統的な文化の大切さを学ぶことができました。
- 先生の話聞いて、やっていいこととダメなことの判断をしっかり行うべきだと思います。また、自分らしさを押し付けてはならず、相手も自分も納得できるようにするのが大切だということが分かりました。

<08 片平中>

- 総合的な学習の時間(地域の伝統文化の継承)における「うねめ太鼓」の学習において講師を招聘した。今年度も「うねめ太鼓保存会」の方々から指導を受けた。2学期からの活動であったが、まん延防止等重点措置の期間と重なり、片平ふれあいセンターでの練習ができず、本校体育館で太鼓を借用して実施した。9回の指導を通して生徒の演奏技術も高まり、学年ごとに練習した成果を文化祭で披露することができた。
- 3年生は、「市中学校音楽学習発表会」で聴衆の心に響く演奏を披露した。2年生は、片平小6年生との交流会で、小学生に太鼓を指導した。太鼓の経験によって、自己有用感や達成感を味わうことができた。

(生徒感想)

- 3年間の成果をしっかり出すことができ、このメンバーで演奏できて本当によかった。
- 文化祭ではとても緊張したが、保護者の方々に喜んでもらえてうれしかった。

<09 喜久田中>

- 音楽科の学習として、地域人材を活用しながら、和楽器教室を実施しました。1年生徒が箏や三味線に触れ、演奏することができました。専門的な知識を持った方に指導していただくことにより、生徒の興味関心が高まり意欲的に活動する姿勢が見られた。
- 国語科の学習として、読み聞かせ会を開催しました。地域の読み聞かせサークルの方々、学級ごとに回って読み聞かせをしてくださいました。生徒たちは真剣な眼差しで聞き入っていました。

<10 熱海中>

- 音楽の授業において、地元熱海町の開湯太鼓保存会の方々に指導を頂いた。熱海町が誇る伝統の太鼓に直に触れ、太鼓を通して、伝統音楽のすばらしさ、気持ちが高揚することを学び、音楽への興味関心を高めると同時に、郷土愛を育むことができました。

(生徒感想)

- 太鼓なんて簡単だろうと思っていましたが、パチに神経を集中しないといい音が鳴らないこと、想像以上に体力と精神力を使うことがわかりました。太鼓の音を聞くと、気持ちが踊るのが不思議です。また太鼓を叩きたいと思いました。

<12 高瀬中>

- 音楽科の非常勤講師である小針淳子先生を講師に迎え、校内合唱コンクールの審査を行っていた。専門的な見地からの審査は大変分かりやすかった。また、審査後の講評を通して、子どもたち自身が達成感や成就感を味わうことができ、合唱のすばらしさをあらためて実感することができた。
- 助産師の吉岡利恵様を講師に迎え、各学年の発達段階に応じた内容の講義と演習を行っていただいた。思春期にある中学生にとって、“性”の視点からいのちや男女交際について考えることができたことは大変有意義であった。

<13 郡一中>

- 本校一学年生徒を対象に和楽器演奏(箏・三味線)を味わわせ、和楽器演奏への興味・関心を高めさせ、実際に演奏する体験を味わわせることができた。演奏することの喜びや苦労についても生徒に話していただいた。生徒たちの演奏している様子や事後の感想から、和楽器の持つ素晴らしさや音楽を身近に感じられたこと等、本事業の有効性を確認することができた。三人の講師は共に、**次年度も**

本校の生徒たちに指導したいとの意向であったので、継続的に講師として招聘し、本校生徒に和楽器の素晴らしさを味わわせていきたい。

- 性教育講座では郡山市医療介護病院職員を講師に迎え、3年生を対象に、「男女のからだのしくみ」「妊娠・出産のしくみ」「性交に伴うリスク(望まない妊娠・性感染症等)」について講話をいただいた。上記に加え、SNSの利用やDVについてまで幅広い内容で、心とからだが著しく成長する3年生にとっては貴重な講話となった。

(生徒感想)

- 箏は小学生の時にやったことがあったが、三味線は初めてでした。難しかったけどおもしろかったです。
- DVやSNSの使い方について知らなかったことが分かってとてもためになった。

<14 郡二中>

- 1年生は合奏、2、3年生は合唱に取り組み、文化祭で練習の成果を発表した。審査員の先生からは、様々な活動が制限されている中で、感染症防止対策をしながら工夫して練習に取り組んだ成果が見られ、どのクラスもすばらしい発表であるとの講評をいただき、また音楽の素晴らしさを教えていただいた。
- 音楽科の授業で、日本の伝統音楽である琴と三味線の演奏について指導をいただいた。普段、触れる機会が少ない琴や三味線を演奏することを通して、日本の伝統音楽について理解を深めることができた。

<15 郡三中>

- 国語科の学習として、地域人材を活用しながら1年国語で詩の授業を行った。すべての生徒が詩を完成させ、互いに鑑賞し合うことで、興味関心が高まるとともに、専門的な知識を持つ方の指導を受けることで、表現力が豊かになり、言葉を吟味することができた。また、互いの詩の鑑賞の仕方を学ぶことができた。
- 音楽科の学習として、地域人材を活用しながら1年音楽で和楽器講習会を行った。琴や三味線などの楽器に直接触れ、実際の演奏を通して和楽器についての理解を深めた。また専門的な知識を持つ方の指導を受けることで、和楽器の演奏法を学ぶことができた。
- 2年生対象の思春期講座では心と身体の変化・男女差を中心に命の大切さについて学び、自分や相手を大切にすることの重要性を理解した。

(生徒感想)

- 夢中になれることをどんどん増やして行って、自分らしさを見つけていけたらと思います。自分の将来について“考えて””選択して”行動し、日々一歩一歩成長していきたいです。
- 体も心も成長していくにつれて、子供が産める体になったり、今までと考え方が変わってきたりします。そうなったとき、どう生きていくか。今日の講習をふまえて、考えていきたいです。

<16 郡四中>

- 講師を招聘し、専門的なご指導を受け、生徒達は、和楽器の響きや魅力に触れることができた。参加した生徒の多くが「うまくなってうれしい」「楽しく貴重な経験ができた」等の感想を残した。また、講師から「生徒たちが真剣にかつ意欲的に取り組み、やりがいがありました。」という感想が寄せられた。
- 郡山スケート協会の協力を得てスケート教室を実施した。生徒達はこの行事を非常に楽しみにしており、真剣に練習したためスケートの技能も向上し、目的を達成できた。

(生徒感想)

- 音色がとても良く、日本楽器の奏でるスローなテンポと弾けるような音がとても心に響いていました。落ち着いた空間の中で感性を磨くことは他の活動にも大いに役立ちます。日頃はなかなか経験できない貴重な機会でした。

<17 郡五中>

- 1年、2年を対象に助産師の吉岡利恵さんを講師に迎えて、思春期講座を実施しました。妊娠や出産について、思春期の心と身体の変化への向き合い方など具体的なお話がありました。とくにLGBTへの配慮や多様性を認め合う社会については、SDGsの観点からも講話がありました。望まない妊娠や性病についてなど現代の性に関する諸課題についても講話していただきました。生徒たちは真剣に講話を聴き多くのことを学んでいました。
- 1年生を対象に琴と三弦の授業を後藤札子先生をお招きして実施しました。音楽科の教師も参加し日本の伝統楽器である琴や三弦について、製造工程からていねいに指導をいただき、かつてはごく身近な楽器で郡山市内でも多くの方が楽しんでいたことなどのお話がありました。実技の指導では、生徒たちは講師のお話を集中して良く聞き、真剣な態度で授業に臨んだことから、短い時間の中で充実した学習をすることができました。講師の指導力が極めて高く生徒も邦楽の素晴らしさを身をもって体験することができました。

<18 郡六中>

- 音楽科の学習として、地域人材を活用しながら、日本の音楽文化体験事業を実施しました。1年生の生徒が実際に箏を演奏しました。専門的な知識を持った方に指導していただくことにより、生徒の興味関心が高まり意欲的に活動する姿勢が見られました。
- 部活動指導として、地域人材を活用しながら、合唱指導を実施しました。専門的な知識を持った方に指導していただくことにより、生徒の技能が高まり、全国大会金賞受賞につながりました。

<19 郡七中>

- 合唱部の指導において、専門的な知識や技能を有する専門家を招き活用することで、生徒の技能や技術をさらに伸ばさせることができた。各コンクール等で優秀な成績を修めることができた。
- 国語科における書道講習会では、講師の先生のわかりやすい説明と一人一人に応じたていねいな実技指導で、課題の文字が上達した。

<20 緑ヶ丘中>

- 本中学校学区在住の人権擁護委員を招き、全学年の道徳の時間に、学年毎にテーマ別で人権についての授業を実施していただき、人権の意識が高まった。
- 2年生の社会の時間に、税理士を講師の先生として招き、租税教室を行った。税金の種類や用途について詳しくご指導をいただき、理解が深まった。

(生徒感想)

- 普段から相手のことを尊重して生活することが大切だと思った。
- 自分の身近なところに、性的マイノリティーの人がいたら、差別せずに相談にのってあげたいと思った。
- 気軽に何の意識もせず、インターネットを使っていたが、危険なことになり得ることが分かった。
- 今まで少ししか分からなかった税金のことや消費税などのあり方について学ぶことができました。当たり前のように登校している学校も、1人1人に1年あたり90万円も使われていて、きちんと勉強しなければいけないと思いました。今後公民の授業でもしっかりと税金の学習に取り組みたいと思いました。

<21 富田中>

- 合唱部での活動に対して、専門的な指導をコンクールの直前にいただいたことで、生徒たちは発声の基本や曲作りの理解が深まり、演奏曲が仕上がっていく達成感を実感しながらコンクールに参加することができた。
- 地域に関わる人材を積極的に活用することで、地域力を生かした開かれた学校作りに寄与すると考えられる。また、本講師は継続して本校に関わっているため、生徒の実態を把握したうえでの活動になり、より効果的な支援につながっている。そのため、次年度も継続した取り組みを実施したいと考

える。

(生徒感想)

- 先生にアドバイスをいただいたことに注意して取り組んだら、見違えるような雰囲気になった。
- 先生が見本を示してくれたので、口の開き方や声の出し方がよく分かった。

<22 大槻中>

- 1年生と3年生を対象に「性に関する学習会」を実施したが、それぞれの学年、発達段階に応じた話の内容だったのでたいへん分かりやすく、生徒は興味を持って聞くことができた。
- 箏や三味線に初めて触れる生徒も多くいたが、たいへん興味を持って意欲的に取り組んでいた。また、簡単な曲の演奏や全体合奏ができるようになり、さらに上手に演奏しようとする意識が高まった。

(生徒感想)

- どうやって自分が生まれてきたかなどを通して、「自分の命」を大切にすることがとても大切だと感じました。あらためて命は大切にしないといけないことが分かりました。

<23 小原田中>

- 和楽器の体験授業では、県中地区にお住まいの後藤礼子さん他2名を講師にお招きして、1年生の音楽の授業で箏の演奏を指導していただいた。日本の伝統芸能の学習は、音楽の学習指導要領にもあり、生徒により専門的な学習指導を行う事ができた。
- 喫煙防止教室では、郡山市にある星総合病院の保健師の七海明美さんを講師にお招きし、2年生を対象に喫煙防止教室を実施した。中学1年生という成長期に喫煙の危険性について学習することで、生徒自身の健康への関心が高まった。

<24 宮城中>

- 技術・家庭科の授業では、地域人材を活用しながら、植物栽培学習としてパンジーの植替え作業と、楮の収穫作業を行った。講師の方から、パンジーとビオラの説明や作業の流れとその意味の説明を聞いた後、全校生がパンジーの植替えを体験し、自分の名前のラベルを付けた。植替えた鉢花は卒業式と入学式で飾るため、思いを込めて作業することができた。
- 1年生の総合的な学習の時間では、海老根和紙保存会の方から、地域の手漉き和紙の歴史の講話を聴くとともに、和紙の手漉き体験を行った。漉いた和紙は、地域行事の“秋蛩”に展示する灯籠で活用できるもので、生徒たちは生き生きと取り組むとともに、小学校での経験者は、手際よく作業を行っていた。

(生徒感想)

- 現在に至るまでの紙漉きをする職人の様子や海老根の歴史、保存会の人々の取り組みを知ることができました。秋蛩など身近な所にも海老根和紙が使われていて、文化が引き継がれていると思いました。これからも歴史を感じながら取り組みたいです。

<25 御館中>

- 総合的な学習の時間において、地域の伝統芸能である柳橋歌舞伎の学習に全校生徒で取り組んだ。その成果を校内文化祭(みたて祭)で保護者に披露することができた。柳橋歌舞伎保存会の多大なる協力による専門的な指導により、生徒の興味関心が高まり意欲的に活動する姿勢が見られた。また、地域の人々との様々なふれあいから、伝統芸能を継承する心や地域文化・伝統を尊重する態度を育成することができた。

(生徒感想)

- 伝統を受け継ぐ大切さと難しさを学びました。

令和3年度

【地域力を生かした働き方改革】義務教育学校（所見・感想等）

児童生徒感想： 講師感想： 主な学校所見：

<1 西田学園>

- 学校近くの田で行った田植え・稲刈体験活動は、農家の人々の工夫や願いを学ぶ貴重な体験活動の場となった。自分達が植えた稲を刈り、食することで、いつも食べている米には農家の人々の工夫や願いが込められていることを学ぶ貴重な体験の場となった。
- 「命の学習」では、発達段階に応じて自分の生命の大切さを学ぶ場となった。一人一人の生命が誕生するまでの過程と育児の様子等を具体的に学ぶことで、自他の生命を大切にしようとする思いを育てる場となった。
- 地域の豊かな自然を学ぶ「ホタル学習」や地域の伝統産業を学ぶ「張子絵付け体験」は、地域のよさを学ぶ場となった。ホタルをとおして地域の自然環境を考えたり、絵付けをとおして地域の産業に誇りをもったりすることができ、郷土を知り、郷土を愛する契機となった。
- 音楽科や書写では、それぞれの分野の専門家の指導により、充実した学習の場となった。雅楽教室では雅楽の音色を味わい、書きぞめ教室では筆使いを学び、学習内容の一層の充実が図られた。
- 地域での取組や地域の方を中心に多くの方々から学ぶことをとおし、児童生徒は地域のよさを実感し、郷土を愛する気持ちをもったり、専門的な知識を教えていただき、学習への意欲をもって課題について深く考えたりすることができた。児童生徒一人一人が充実した学びを展開することができた。
- 講師の方々は、日頃より学校教育に大変協力的で、本校児童生徒のために積極的に関わってくださっている。学習活動終了後には、児童生徒の学習に取り組む姿勢や意欲、考え方について大変関心をもってくださっている。さらに活動後には、「子どもたちの学習が大変勉強になった」「今後も継続して関わりたい」と話してくださっている。

(児童感想)

- 沐浴させる体験が一番大変でした。私たちが大事に育てられたのがすごく感じられました。妊娠している時も大変だし、出産してからも大変で、お母さん、お父さんはすごいと思いました。
- 田植えを毎年やるのは大変だなと思いました。今は田植え機があって楽だなと思いました。

<2 湖南小中>

【前期課程】

- 地域の民話の会の方々により湖南地区に伝わる民話を指導いただいた。そのまとめとして、全校児童が授業参観において、1人1つの民話を立派に発表することができた。これらの活動を通して、地域を愛する心と、表現力の育成に役立てることができた。
- 地域のボランティア連絡会の方を招き、1・2年生の児童たちとともに団子さしを行った。この伝統行事を通して、その由来や人々の願いを教えていただいた。
- 湖南地区の冬期間の積雪を活用し、冬季はスキー学習を行った。今年度もコロナ感染対策を十分にを行いながら、校庭南側の山を利用して前期課程スキー記録会を実施した。地域の指導者を招いて学習することで、より専門性を高めた技能の習得に努めることができた。
- 湖南民俗資料館長の橋本勝雄氏による小3社会「道具とくらしのうつりかわり」の出前授業を行い、古民具に実際に触れ、昔と今の暮らしの違いに気付き、道具や暮らしの発達に関する理解を深めた。
- 今後もこれまで以上に地域の人材を積極的に活用することにより、児童の学びの環境の充実を図るとともに、学校と地域の連携をさらに深め、地域の教育力の向上と地域の方々の生きがいづくり、地域コミュニティの充実を図りたいと考えている。

【後期課程】

- 今年度は、コロナ感染対策を実施した上で、計画通り三世代交流事業を年2回実施することができた。公民館や地域の方の協力をいただき、第1回目は6月に、第2回は11月に予定通り実施できた。

実際に6年生と8年生が土を触り、コミュニケーションをとりながら、地域の方とふれあい、来年度の春に向けて花の苗植え等を行った。地域の方と体験活動するのは貴重な機会となり、児童や生徒たちからは子どもたちから「楽しかった」「やってよかった」との声が聞かれた。児童生徒は、はじめは戸惑っているようであったが、地域の方にやさしく声をかけていただき、少しずつ和んで活動できた。植物の育て方等も具体的に教えていただいた。今後の楽しく人生を生きるきっかけづくりだけでなく、地域の方にとっても学校や児童生徒の日々の教育活動の様子を知る、よい機会となった。

- 今後もこれまで以上に地域の人材を積極的に活用することにより、児童の学びの環境の充実を図るとともに、学校と地域の連携をさらに深め、地域の教育力の向上と地域の方々の生きがいつくり、地域コミュニティの充実を図りたい。地域とともにある学校として三世代交流事業は湖南小中の特色ある行事でもあり、継続していきたいと考える。

令和3年度 地域学校協働活動推進事業事業（活動内容・回数等）

【地域未来塾】小学校（11校）

学校名	活動区分	教科等	主 な 内 容	回数	時間数	講師数	参加児童数
04行健二小	1. 土日祝日、長期休業	1. 学習支援	書きぞめ練習	1	1	1	145
05明健小	1. 土日祝日、長期休業	1. 学習支援	書きぞめ指導	1	3	1	73
06小泉小	1. 土日祝日、長期休業	1. 学習支援	夏休み学習会	2	4	4	10
07行徳小	2. 放課後	1. 学習支援	特設学習部の学習支援	2	4	2	10
17片平小	1. 土日祝日、長期休業	1. 学習支援	夏休み学習会	2	4	4	26
19熱海小	1. 土日祝日、長期休業	1. 学習支援	サマースクール	1	2	2	31
29開成小	1. 土日祝日、長期休業	1. 学習支援	開成寺子屋	1	2	2	17
30芳賀小	1. 土日祝日、長期休業	2. 体験活動	貯金箱づくり体験	1	1	1	23
33薫小	1. 土日祝日、長期休業	1. 学習支援	サマースクール	2	4	4	35
34富田小	1. 土日祝日、長期休業	1. 学習支援	夏休み学習会 冬休み学習会	17	51	17	229
39東芳小	1. 土日祝日、長期休業	2. 体験活動	貯金箱作り体験	1	3	2	18

【地域未来塾】中学校（11校）

学校名	活動区分	教科等	内 容	回数	時間数	講師数	参加生徒数
01日和田中	1. 土日祝日、長期休業	1. 学習支援	夏休み学習会	2	9	6	48
02行健中	1. 土日祝日、長期休業	1. 学習支援	3学年夏季学習会	9	27	9	180
08片平中	1. 土日祝日、長期休業	1. 学習支援	夏季学習会	6	12	6	62
09喜久田中	1. 土日祝日、長期休業	1. 学習支援	書きぞめ教室	1	3	3	83
10熱海中	2. 放課後	2. 体験活動	スピードスケート教科指導	3	6	3	3
11守山中	2. 放課後	2. 体験活動	日向太鼓の演奏練習	6	12	6	90
13郡一中	1. 土日祝日、長期休業	1. 学習支援	のびのびサマースクール	3	3	3	30
16郡四中	1. 土日祝日、長期休業	1. 学習支援	宿題等の助言	6	12	6	21
23小原田中	1. 土日祝日、長期休業	1. 学習支援	こはらだ寺子屋	3	6	6	46
24宮城中	1. 土日祝日、長期休業	1. 学習支援	夏休み学習会	3	6	3	15
25御館中	1. 土日祝日、長期休業	1. 学習支援	夏休み学習会	1	2	2	27

【地域未来塾等】義務教育学校（1校）

学校名	活動区分	教科等	内 容	回数	時間数	講師数	参加生徒数
02湖南小中	1. 土日祝日、長期休業	1. 学習支援	学習支援	4	16	13	133

令和3年度 【地域未来塾】小学校（所見・感想等）

児童感想： 講師感想： 主な学校所見： _____

<04 行健二小>

- 書きぞめ練習会では、講師の先生からご指導をいただくことで、書写の技能が高まり、よい作品を完成させる児童がたくさん見られた。書写への意欲の高まりも見られた。

<05 明健小>

- 冬季休業中には、書き初め指導をしていただき、73名の子どもたちが専門的な指導をいただいた。密をさけるために、小中学生を別々に指導いただいた。
- 講師は例年協力してくだるベテランの方なので、子どもの実態を熟知しており、効果的な指導をしてくださった。教職員や保護者から、来年度以降もこのような機会を継続してほしいとの声があった。

（児童感想）

- 先生が向かい側から筆を持って、自分に見えるようにお手本を書いてくださいました。反対側から筆で字を書けるなんてすごいと思いました。筆を大切に扱う大切さも教わりました。3学期から、もっと大事に道具を使って、上手に文字を書こうと思いました。

<06 小泉小>

- 長期休業中の夏休み学習会では、寺子屋郡山の講師が来校した。子どもたちにとって難しい内容の指導もあったが、それぞれの課題に応じて学習を進めることができた。

<07 行徳小>

- 放課後の特設学習部の活動では、地域の方に支援を受けながら、進んで学習する姿が見られた。新型コロナウイルスの影響もあり、当初の計画よりも少ない回数での実施となった。

<17 片平小>

- 参加した子ども達の多くが静かな環境の中で集中して学習に取り組み、学習の楽しさを味わうことができた。
- 片平小学校の卒業生である大学生に学習支援に入ってもらい、安心して学習のアドバイスを受けることができた。

（児童感想）

- 集中できて勉強がはかどった。
- 友達と一緒に勉強できたので、自分も頑張ろうという気持ちになった。
- 分からないところを丁寧に教えてもらえてよかった。

<19 熱海小>

- 「サマースクール」と題して、夏休み期間中に英語の学習、さらに夏休み課題の援助を行った。

<29 開成小>

- 長期休業中に実施の「開成寺子屋」では地域の方からの支援を受け、学習内容の定着を図ることができた。特に、学習内容が難しくなってくる中学年児童を対象に実施したところ、理解が不十分だったところができるようになり、児童の学習意欲の向上にもつながった。

（児童感想）

- 大学生のお兄さんお姉さんに教えてもらいうれしかった。

<30 芳賀小>

- 夏季休業中に体験教室を開き「ミニ貯金箱づくり」を予定していたが、コロナウィルス感染拡大により当初予定していた活動ができず、当日材料を配付し、各家庭で制作することになった。来年度は、実施できる環境になれば、実施したい。

<33 薫小>

- 夏季休業中の学校外活動のサマースクールを実施したところ、多くの学年の児童が集まり、地域の方からの支援を受け、進んで学習する姿が多く見られた。また、上級生が下級生に教える姿も見られ、異学年間交流を図ることにもつながった。

(児童感想)

- サマースクールに来て、分からない問題を地域の人に教えてもらってよく分かりました。
- 上級生に分からないところを教えてもらってうれしかったです。

<34 富田小>

- 長期休業中学習会は、新型コロナ感染拡大防止の対応をしながらの開催となった。昨年に引き続きということもあり、参加者も多く、学習の機会を保障する上で有効であった。学習意欲、学力の向上に寄与したものと思われる。

<39 東芳小>

- 今年度も夏季休業中に体験活動を実施した。地域コーディネーターと相談し、東部地域公民館にて、貯金箱作りの体験活動を行った。当日はたくさんの児童が参加し、有意義な活動を行うことができた。

(児童感想)

- コロナでどこにも出かけられない夏休みだったけど、みんなで貯金箱を作ることができて楽しかった。

【地域未来塾】 中学校（所見・感想等）

生徒感想：

講師感想：

主な学校所見： _____

<01 日和田中>

- 夏休みの3日間を利用し、寺子屋郡山の3名の先生を講師としてお迎えして、「夏休み学習会」を開催した。学習意欲の高い生徒が参加し、中身の充実した時間を持つことができた。分からない問題を講師の先生に質問するなど、意欲的な学習が見られた。まとめとして、分からなかった問題を紙に書き出し、発表する学習を行った。また、英語では講師の先生と英会話を行った。生徒の主体的な学習を行う機会となった。

(生徒感想)

- 難しい問題も丁寧に教えて頂き、よく分かった。
- 問題集を解くだけでなく、講師の先生と英会話を行ったのが楽しかった。

<02 行健中>

- 夏季休業中に、3年生対象として開催した「寺子屋行健」では、受験に向けた生徒の自主的な学習活動を支援する内容であった。

(生徒感想)

- 夏休みの中、学習に集中できる環境が学校に用意されたことが、大変ありがたかったです。わからない問題にとても親身にわかりやすく教えてくれた担当の方に感謝の気持ちでいっぱいです。特に、数学で学んだことをどのように使っていくのか教えてもらえたことは今後の学習や生活に役立つと思います。

<08 片平中>

- 夏季休業中に、専門的な知識を有する寺子屋郡山の先生に講師をお願いし、学習会を行った。1年生から3年生まで各回10名程度参加し、夏季休業中の課題や受験勉強でわからない点を講師の先生方に丁寧に指導していただいた。全学年が1つの教室で一堂に学習することで、自ら進んで学習に取り組んでいた。

(生徒感想)

- 一人一人にわかるまで教えていただいとてもうれしかった。
- 自分一人だと集中できないことが多いけど、みんなと一緒に勉強したことで、集中力がついたと思う。

<09 喜久田中>

- 長期休業中の学校外の活動である書きぞめ教室では、希望制にも関わらず小学生29名中学生54名、合計83名が参加した。地域の喜久田書道クラブの方々にご協力いただき、集中して書きぞめに挑戦する姿が多く見られた。また、子ども同士で教え合う姿も見られ、異学年間交流を図ることもできた。

<10 熱海中>

- 特設スピードスケート部において、コーチの専門的な立場から、技術面、体力面、そして、精神面の指導を通して競技力の向上を図ることができました。そして、県大会、東北大会、全国大会へ出場し、着実に記録を伸ばすことができました。

(生徒感想)

- 技術面だけでなく、日常の練習や大会における心構えを教えていただきました。コーチのお陰で、県大会、東北大会、全国大会に出場して自己ベストを更新することができました。これからも、スケートのことを教えてもらい、さらに記録を更新したいと思います。

<11 守山中>

- 文化祭のオープニングで演奏する日向太鼓を今年度も練習させていただき、文化祭当日では、素晴らしい演奏を繰り広げることができた。参加した生徒の中には1年生の時から毎年太鼓の練習に取り組んだ生徒もあり、練習を通じて一生懸命に努力することの大切さを学ぶことができた。

<13 郡一中>

- 長期休業中の学校外の活動であるサマースクールでは、外部塾講師による適切な支援を受け、進んで学習する姿が見られた。

(生徒感想)

- 分からないことをすぐ講師の先生に聞くことができたので、自分のペースで学習を進めることができた。

<16 郡四中>

- 参加数は多くなかったが、「もう少し日数を増やしてほしい」という声もあった。

(生徒感想)

- 2日間参加しましたが、静かで涼しいので、家でやるよりもずっと集中できました。わからないことを友達や監督の方に聞いたりしてできて能率が上がりました。

<23 小原田中>

- こはらだ寺子屋では、地域コーディネーターの瀧田勉さんが中心となり、小原田公民館で中学生を対象にした学習支援を行った。日大東北の学生などが、夏休み期間を活用して、本校生徒に勉強を教えた。普段と違った環境に、多くの生徒が楽しみながら勉強することができた。

<24 宮城中>

- 長期休業中の夏休み学習会では、学生ボランティアによる学習支援を受け、進んで学習する姿やわからないところを積極的に質問する姿が見られた。学習の仕方などのアドバイスもしていただくなど、年齢が近いこともあって、生徒たちは楽しそうに参加していた。

(生徒感想)

- 最初は緊張したけど、とても優しく教えてくれて分かりやすかった。勉強の仕方がとてもやりやすそう、これからは先生のやり方がいいと思った。

<25 御館中>

- 本校出身の大学生の協力を得て、長期休業(夏休み)を利用した学習会を行った。大学生による個別指導により、進んで学習する姿が多く見られた。また、生徒同士で教え合う姿も見られ、学習意欲を高めることもできた。

(生徒感想)

- 教えてくださった大学生の方がとても優しく、勉強をする時のアドバイスなどを教えていただいて、とても勉強になりました。集中して取り組めて良かったです。

【地域未来塾】義務教育学校（所見・感想等）

生徒感想： 講師感想： 主な学校所見： _____

<義 02 湖南小中>

- 夏季休業中に、大学生や高校生のボランティアの方の力を借りて、学習支援やプール開放に協力いただいた。おかげで、児童たちにとって心に残る楽しい夏休みを送らせることができた。

評価・検証委員からの意見

【内容や回数に対する評価】

- ・今年度もコロナの影響で大変だったが、昨年度と比較して講座数や参加者数が増加した点はよかったと思う。また、行った内容についても、参加した児童・生徒、講師、学校からのマイナスの意見もなく、子ども達の心身の生育に効果があったものと思われる。
- ・このコロナ禍の中、地域コーディネーターの方々を始め、多くの方が創意工夫を凝らして回数を増やし、尽力していることに感銘を受けた。講師及び児童の感想も良好なものが多く、特に児童の感想の中に新しい発見や知的関心の高まり等が見え、自己実現や進路発見に資するところが多かったのではないかと思います。今後もこのような努力を続け、受け継がれてほしいと思う。
- ・各学校で、子ども達にとって充実した様々な体験活動の機会が設けられていると感じた。地域の伝統文化や歴史について学ぶ内容は、地域への愛着が深まり、とても有意義な学習だと思う。
- ・今年度はまん延防止等により、学校の活動にも支障があり、制約を受けたと思われる。その中で総合学習ボランティア（学活や総合学習）で幅広い活動が取り上げられていることが良かった。

【内容や回数等に対する意見・提案】

- ・内容について若干偏りがある部分もあるので、全学校で実施しても良いような内容もあるため、この学年ではこの内容を入れる等の体系化をしても良いのかなと感じた。
- ・活動内容や活動回数を増やしたいと考えているが、情報がなく講師の活用方法が分からない場合が考えられるため、コーディネーター間で情報交換のような場や研修会等があるとより活用しやすくなるのではないかな。
- ・コロナ禍で「できなかった」よりも「こんな工夫で実施した」という例があれば、次回への内容や回数・参加者数への参考になるのではないかな。
- ・粘り強く継続していく為にも、コーディネーターの質の向上、増加が求められていると思う。
- ・まずは内容の精査よりも、全体的な協働の回数を増やし、その中で学校の負担感を調査すべきだと思う。その上で、良いものは残していけば良いと思う。また、教員の働き方をそれに合わせて軽減していく時期かと思う。

【その他全体についての意見・提案】

- ・各学校の所見・感想から、本事業が活動に関わっている講師のやりがい、教師の指導力の向上、更に子ども達の学びや育ちの豊かさにつながっていると感じた。
- ・このような素晴らしい努力や成果を市民が知っているかどうかの問題と思う。マスコミ等を通じて、このような活動を知ってもらう機会を作ることが肝要と考えます。
- ・中心校より、自然豊かな地域の学校の方が地域の作物や環境についての学びが、地域と密着し、効果が上がっているように思う。
- ・地域人材の発掘には、地域コーディネーターと公民館との連絡を密に行うことが、内容を濃くしていくには有効である。学校・コーディネーター・公民館の連絡が密な地域ほど濃密な活動ができているように思われる。
- ・各学校において充実した内容を円滑に行うために、活動がうまく行われている学校の取り組みを共有できる機会があると良いと思う。また、活動の取り組みが特別なものでなく、普段の授業に無理なく、各学校の実情に応じた必要な場面において取り組めるようになると良いとも思う。
- ・地域コーディネーターを人材育成の意味で活用しつつ、同時にコーディネーターの力量だけに依存しない仕組み作りは必須であると思う。

